

令和3年度の学校評価（目標）

<p>本年度の 重点目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る。 2 学校いじめ防止基本方針に基づき、すべてのいじめの根絶を図るとともに、情報モラルを向上させる。 3 適切な情報提供を行い、確かな進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。 4 外部との連携を充実させ、学校全体でのE S D活動を推進する。 5 「教員の多忙化解消プラン」に基づき、業務改善に向けた学校マネジメントの推進を図る。 6 保護者・地域に対して、積極的に本校の取組を発信する。 7 コロナ禍において安全・安心な学校運営を心掛ける。 8 一人一台タブレットの積極的な活用を効果的に実施する。 		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>留意事項</p>
<p>生徒指導 (生徒指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らを律する力の育成。 意識や行動を変え正しい選択ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ指導、風紀委員活動などを通じて、身だしなみ、情報モラル、学校生活について自ら正す機会を設ける。 ・年度末にはアンケート調査により、意識の変化等を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい判断ができるよう、事前指導の徹底、指導教材などの提供をしながら見守り、放任はしない。 ・学年主任、担任、教育相談部と連携を密にする。
<p>(2年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の向上を図り、豊かな人間性を育む。 ・リーダーシップの育成と学年全体の団結を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学、HR、学年集会を通して、相手を思いやる心、自分の考えを伝える力を高める。 ・学校行事を通してリーダーシップと責任感を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事を通して、学年全体の繋がりを意識し、学年の団結を深める。 ・室長会やリーダー会を開催し、リーダーとしての意識を高める。
<p>(1年学年会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を確立し、検定取得に対しても意欲的に取り組む。 ・部活動と学業を両立する。 ・生徒指導課と連携し、遅刻・身だしなみ指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任会や学年会をとおして情報を共有する。 ・教科担任や部活動顧問と生徒情報を共有する。 ・生徒指導課と連絡を密にし、落ち着いた学校生活を送れるよう努める。 ・進路指導課と連携し、将来を見据えた学校生活を送れるようにする。
<p>学習指導 (教務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを意識した授業展開の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員及び全生徒のICT機器を活用した授業スタイルの変革を進める。 ・ユネスコスクールとして、SDGsに関連する内容を授業に取り入れる。 ・教科主任会と連携し、アクティブラーニングの展開事例を共有し、効果的な実践方法を検討する。 ・公開授業週間においては、教科や担当科目の枠を越えて、期間中1回は授業を参観し合い、多様な指導方法に触れる機会とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開授業週間において、ICT機器を活用した授業を展開し、全職員で事例共有を行う。 ・教科主任会において、SDGsに関する授業の実施を推進する。教科横断的に多面的な角度から、SDGsについて理解させる。 ・現行の授業をベースに、講義型授業と参加型授業をバランスよく取り入れ、さらに学習活動がアクティブ化するように、授業展開を意識する。 ・授業を参観し合うことで、自身の指導技術の向上と研鑽に努めることに主眼を置く。また、教科の特性を知る機会としても活用する。
<p>(経理科)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対話的で深い学びの視点による経理教育の充実と授業実践の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の個々の意味を深く理解させるとともに、ICT機器を活用してより効果的な授業展開を心掛ける。 ・外部講師を多く活用するとともに、ビジネスの視点を持ち、広い視野で会計情報の判断・分析をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学び、深く考えて理解させる時間を多くとれるよう、より効果的な授業を心掛ける。 ・外部講師を多く活用するとともに、会計以外の知識に興味をもたせ、会計情報とあわせて様々な視点から適切に判断し、対話的で深い学びができるよう配慮する。

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
学 習 指 導 (事 務 科)	<ul style="list-style-type: none"> 発展的なマナー教育に対する効果的な指導方法の研究 Society5.0 や SDGs、DX などの視点によるビジネス教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 講師招聘や連携教育を実施し、マナーを習得させ、実践できる機会を設定する。 学校設定科目において Society5.0 や SDGs、DX などの視点からビジネス教育を展開し、企業の社会的責任を果たす態度と未来ビジネスを創造できる人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や連携教育で学習した内容を日頃から実践できる機会を設ける。 ケースメソッドや ICT 機器を積極的に活用し、主体的で対話的な学びを中心として展開する。 Society5.0 や SDGs、DX だけでなく、金融や、リーダー論、地域産業の特色、企業の分析など多岐にわたる内容について触れ、多角的に意思決定できる能力を育成する。
(情報処理科)	<ul style="list-style-type: none"> 新カリキュラムを先行実施し、課題と対応策を検討する。 ルーブリック評価及びフィードバックの手法を用いて、教科横断的なカリキュラム・マネジメントに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学科会を活用し、新カリキュラムの先行実施について課題を見つけ出し、その対応策を検討する。 情報処理科学科デザインを作成し、各科目担当者と連携して共通の評価規準を策定し、教科横断的なカリキュラム・マネジメントについて研究を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な授業進度や評価及び考査について小学科会にて審議する。 情報処理科の育てたい人材像を全教科で共有し、共通の目標とする。
(国際ビジネス科)	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目「地域協働ビジネス実践」の実施、改善 企業と連携し、コミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目を実施、改善し、担当教員と情報共有する。 企業と連携を取り、コミュニケーション能力向上に向けた実践的な取り組みを検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 科で情報を共有し、目標に沿った授業展開になっているか検討する。 企業との協働と、授業の実践をバランスよく取り組むよう努める。
(図 書 課)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用促進と環境及び情報整備 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒のみならず職員に対しても図書館の利用を積極的に働きかけるとともに、魅力ある図書館づくりを心掛ける。 写真等の資料を電子化し整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用しやすい図書館を目指し、更なる広報活動に努める。 図書委員を積極的に活用し、校内イベントを継続するとともに、生徒からPOP作品を募集するなどして、図書館の利用促進に努める。 写真のデータ化や図書の処分を積極的に行い、環境整備に努める。
進 路 指 導 (進路指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 変化する社会に対して生徒が柔軟に対応できるようにするために、確かな進路実現に向けたキャリア教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 最新の企業・学校の情報を提供し、生徒自身が納得する進路選択へと導く。 1 生徒が自己の特性等と将来の進路との関わりから「夢のマッチングフェア」、「卒業生による企業説明会」、「社会人講話」及び「受験報告書」等を活用する。 2 民間就職斡旋業者の活用方法を検討する。 3 充実した高校生活を送ることの延長として、総合型入試の活用を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 機器を利用しての情報の収集、資料の活用を促す。

項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
進路指導 (3年学年会)	<ul style="list-style-type: none"> 自己実現のために幅広い選択肢を考え、自身の能力を踏まえ、柔軟に対応できる態度の育成をする。進路決定を自分で決定したと自覚し、充実した高校生活を送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学やHR、または進路講話を活用して、多角的視点を持って自分に合った進路選択ができるよう指導する。 人生の中で最高の充実感を味わうために、学校行事などに積極的に取り組むよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年会での情報交換及び進路指導課との連携を密にし、生徒一人一人にとって適切な指導・対応を心掛ける。
生徒会活動 (生徒会課)	<ul style="list-style-type: none"> 変化していく状況に柔軟に対応しながら、学校が活気づく生徒会行事を企画運営する。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な状況を想定して企画を進めるとともに、想定外の状況に対しても柔軟に対応できる体制づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年や他分掌との連携を密にして意見を求めながら企画する。 常に生徒の安全を優先させることを念頭に置く。
教育相談 (保健課)	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラー来校日を活用する。 関係の職員と情報の共有を図りながら適切な対応に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の教員で抱えることなく、学年団あるいは関係職員と連携を図り、チームで取り組むことができるように努める。
P T A 行事 (総務課)	<ul style="list-style-type: none"> P T A 行事及び中学生体験入学等の諸行事の再構築 	<ul style="list-style-type: none"> 社会状況を鑑みながら行事の内容を検討し、充実させる。 行事の内容や意義を教職員に周知し、理解や協力を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍における各種行事の工夫・改善を図る。
情報管理 (教育情報課)	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信技術(ICT)活用に関する環境整備及び情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒用タブレットを積極的に活用するための情報提供 情報セキュリティの手引きの再検討 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の取扱いに関する指導が遅れることがないように留意する。 規制をかけすぎて、教育効果が薄れないように留意する。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が生き生きと楽しく活動できる学校づくりができたか。 2 教職員がやりがいを持てる学校づくりができたか。 3 保護者・地域に対して開かれた学校づくりができたか。 	

